

「7月・8月に開催する競技会における危機管理マニュアル」をうけた
「第64回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会」
および
「第71回全日本中学校通信陸上競技大会（東京都大会）」
の対応について

近年の気候変動の影響により、東京都中体連陸上競技専門部では「7月・8月に開催する競技会における危機管理マニュアル」を作成しました。競技者・審判・関係者・観客等の安全と健康を守ることを最優先とする安全な運営に取り組むため、標題の大会につきまして以下の対応を計画していますのでご確認ください。

さらに、「危機管理マニュアル」の内容に該当する気候変動があった場合は、競技会の実施自体に変更がある場合がありますのでご承知置きください。

1 暑熱対策

＜大会本部として＞

(1) 日陰エリアの確保

レンタルテントにより、通常行う大会よりテントの数を増やします。

(2) 身体冷却のために「アイスバス」「ウォーターバス」等の設置します。

(3) 冷却スペースの設置および救護者の冷却室を確保します。

(4) 競技における「タイムテーブル」を配慮します。

・長距離種目の朝・夕の（可能な限りの）実施

・フィールド種目の制限時間の短縮（「1分」→「40秒」に短縮）

※走幅跳・砲丸投・円盤投及び走高跳と棒高跳の4人以上の場合

・昼（中）休みの確保

・水分補給休息：2時間に10分程度の休憩（主に競技役員）

＜参加選手・参加団体にむけた周知徹底＞

・暑熱対策のすすめ：水分、塩分補給、帽子着用の励行

・サポート選手の競技場来場制限への協力

・時差来場への協力

・競技終了後、速やかな解散

2 落雷事故防止対策

＜大会本部として＞

(1) 落雷検知装置を準備します。

(2) 雷予報アプリ（雷ナウキャスト）を活用します。

(3) 落雷の危険性が高いと判断した場合は、競技日程の変更および中断・中止の検討をします。

(4) 避難が必要な状況になった場合は、「総務・総務員」がアナウンスを行い安全な場所への誘導を行います。

＜上柚木陸上競技場における避難場所＞

①陸上競技場メインスタンド裏通路：【来場者】

②陸上競技場メインスタンド下会議室・更衣室・倉庫：【競技役員・競技中選手】

③野球場スタンド下：【参加校選手・引率者】

＜参加選手・参加団体にむけた周知徹底＞

・サポート選手の競技場来場制限への協力

・時差来場への協力

・競技終了後、速やかな解散

3 「危機管理マニュアル」の内容に該当する気候変動があった場合
「WBGT 31 度以上となった場合」や「落雷事故防止対策」により、状況に応じて競技
時間や日程の変更、競技の中断や中止する場合があります。

(1) タイムテーブルの変更 <気候変動による変更の場合の「競技日程」を作成>

※競技の日時が変更される種目があります。

・「100m」のラウンド変更

→ 準決勝は行わない。予選をタイムレースとし、タイム順に1～8番目を「A決勝」、
9～16番目を「B決勝」、17～24番目を「C決勝」によるレースを行う。
入賞の該当は「A決勝」進出者とする。

・「男子」1年1500m・共通1500m・共通3000mをタイムレース決勝とする。

・「女子」1年800m・共通1500mをタイムレース決勝とする。

(2) 表彰・閉会式は行わない

(3) 競技会が途中で中止された場合

①原則として期日は延長しないものとし、大会期日で終了する。

②都総合体育大会「学校対抗の部」は行わないものとする。

③関東大会の選手選考について

「強化委員会から出される資料」に基づいた選考を行う。

④全日本中学校陸上競技大会出場にむけた代替レース・競技は行わない。